



今年の高校入試の分析からこんなことがわかりました！

合格者の国語の平均点は、58.8点

☆正答率^(※)が高かったのは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、文章の展開に即して登場人物の言動や心情をとらえて選択肢の中から解答する問題です。特に「文語のきまり」「漢字の読み書き」の問題では、基礎的・基本的な言語事項の定着が図られています！



特徴的な問題を見てみましょう！

<ねらい>

この問題は、目的に応じて文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする問題でした。

<分析>

正答率は39.4%でした。課題としては、二つの文章を読み比べて趣旨を読みとり、得た知識や情報をもとに、条件に即して考えをまとめられていないこと、文章全体を論の展開でとらえていないことなどが考えられます。

<提案>

日常の指導では、段落ごとの内容を把握するだけでなく、文章全体の論述の過程から書き手のものの見方や考えの進め方を読み取り、それを自分と対比させて新しい考え方を知ったり、自分の考えを再構築したりする機会を設けるなどの工夫も必要です。その上で、新たな知識や考えが次の読書に結びついていくことを実感させる工夫も必要です。

〔標準解答〕

(例) 脳の処理容量を超えた情報を扱うことができるように、紙に書き出しながら考え、頭の中の考えをはっきりさせるように、何度も書きなおしをすればよい。

問六 ⅠとⅡの文章によると、複雑なテーマの論文を書く場合には、どうすればよいか。「書く」ことによる効能が分かるように、七十字以内で説明しなさい。



「分かる！・できる！」まで教えよう！（授業改善のkeyword）
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、報告書や県教育研修センターのHPをご覧ください！

(※)正答率については、合格者4,417人の中から、無作為に抽出した630人(14.3%)分のデータです。